

低入札価格調査根拠資料記載内容確認書

提出された根拠資料の差し替え及び再提出は認めません。また、根拠資料に不備などがあれば、落札者となることができない場合がありますので、ご注意願います。

このため、根拠資料を提出する場合は、以下の確認項目により、根拠資料に不備がないかを確認したうえで、この確認書を低入札価格根拠資料に添付して下さい。

(チェック欄に「○」を記載して、根拠資料に不備がないかを確認して下さい。なお、該当しない場合は、チェック欄に「該当なし」と記載して下さい。)

チェック欄

低入札価格根拠資料

1 低入札価格根拠資料（裏面：当該価格で入札した理由）

様式 8－1

- (1) 低入札価格根拠資料の表面は、委託業務名、商号又は名称、主たる営業所（又は支店等）の所在地及び代表者（又は受任者）の氏名等を記載し、使用印を押印してあるか。
- (2) 理由はどの項目（手持業務の状況、手持資材・機材の状況等）により、低入札による入札が可能になったか記載してあるか。
- (3) 記載した理由が別途調査項目の具体的な内容で証明されているか。

2 積算資料

作成者独自様式

- (1) 直接人件費、直接物品費、その他の経費について、内訳がわかるようになっているか。
- (2) 全項目について単価、金額等が記入されているか。
- (3) 節減理由があれば記載しているか。
- (4) 仕様及び数量
指定数量によって積算しているか。
- (5) 資材単価、労務単価又は市場単価
①著しく低い単価を設定している場合、当該単価の設定理由について記載しているか。
- ②見積価格等の場合は、見積書の有無が記入されているか。

| | |
|--|--------|
| 3 契約対象業務関連の手持業務の状況 | 様式 8-2 |
| <p>(1) 業務を履行するにあたり、関連、連携する手持業務であるか。</p> <p>(2) 委託業務名、業務場所、履行期間及び金額（請負額）は、契約書に記載された内容と同一であるか。</p> <p>(3) 契約書及び業務責任者等の経歴、証書等の写しを添付しているか。</p> <p>(4) 発注者は、委託業務の注文者となっているか。</p> <p>(5) 備考欄に、委託業務件名ごとに元請・再委託の区分を明記しているか。</p> <p>(6) 手持業務の状況から、現場管理費等の節減が可能な場合、その旨を記載しているか。</p> <p>(7) 該当項目が無い場合は「該当無し」と記載しているか。</p> | |
| 4 過去に受託した業務及び履行状況 | 様式 8-3 |
| <p>(1) 当該業務の履行に必要な業種・規模等を受注したことがある場合、その旨を記載しているか。</p> <p>(2) 該当業務の契約書の写し又は見積書を添付しているか。</p> <p>(3) 該当項目が無い場合は「該当無し」と記載しているか。</p> | |
| 5 積替保管・中間処分先等の詳細 | 様式 8-4 |
| <p>(1) 業務を履行するにあたり、提携する積替保管・運搬業者名、中間処分業者名、それらの施設場所、委託単価を記入しているか。</p> <p>(2) 記入した業者の許可書の写し、見積書（単価）等の写しを添付しているか。</p> <p>(3) 最終処分先のリストを添付しているか。</p> | |
| 6 誓約書 | 様式 8-5 |
| <p>(1) 所定の様式に商号又は名称、主たる営業所（又は支店等）の所在地及び代表者（又は受任者）の氏名等を記載し、使用印が押印してあるか。</p> | |